

放課後等デイサービス

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ
境・ 体制 整	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか		○	
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされているか			○
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 しているか	○		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	○		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	○		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか			○
適切 な支 援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	○		
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、放 課後等デイサービス計画を作成しているか	○		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用しているか		○	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いるか	○		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援しているか	○		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活 動を適宜組み合わせ放課後等デイサービ ス計画を作成しているか	○		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につ いて確認しているか	○		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気 付いた点等を共有しているか	○		
17	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹 底し、支援の検証・改善につなげているか		○		
関係 機関 や保 護	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサ ービス計画の見直しの必要性を判断してい るか	○		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っているか	○		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふさ わしいものが参画しているか	○		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、 連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡)を適切に行っているか	○		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えて いるか			○

者との連携関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		
	35	個人情報に十分注意しているか	○		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか			○

げんき

改善目標、工夫している点など
定員に対する指導訓練室は十分だが、個別に指導がいる時の居室が足りていない。
・今は対象者がいないため問題はない ・玄関前に階段がある、各部屋の入り口も狭い
・会議などで職員間の話し合いはできている
・送迎時などに保護者等と話し合っている
・ホームページで公開
・第三者による外部評価は行っていない
・法人全体や、放課後等デイサービス事業所での合同研修を実施
・定期的に会議を行っている。
・アセスメントは行っているが、ツールのフォーマット等は再度検討が必要
・職員間で話し合っ毎日の活動を計画している
・一年間を通じて行っている。
子ども一人ひとりのニーズに合わせて取り組みをしている。
打合せを毎日している。打合せ時間に居ない職員には書面で伝えている。
送迎後、必ずしている。居ない職員には必ず後日報告をしている。
・教務日誌に支援に基づいて書けるように日誌を見直す。
・期間ごと、また随時会議で計画を話し合っている
・積極的に子供の学校での様子を聞いている。情報交換も必要があれば行っている。
・現在は対象となる児童がいない ・主治医との連携など、必要な場合に備えて体制を考慮しておく

新1年制に関しては情報共有を深めている。保護者を通じてが多い。

- ・同法人内では情報共有をしているが、他法人との情報共有は今後の課題

研修がある時は積極的に参加している。

- ・法人として参加している

- ・送迎時や面談などを通して利用者の状況は話し合っている

- ・利用者負担については案内文を配布、説明をしている。

- ・保護者の方が、法人の親の会に役員として参加

・苦情がでないよう配慮しているが、出た場合は速やかに対応している。

- ・法人全体としてはイベント等を行っている

- ・法人としてのマニュアルはあるが、事業所としてのマニュアルを作っていく

- ・避難訓練は定期的に行っている

- ・常に話し合っている。法人研修として研修に参加した。

- ・対象者がいないため今は実施していない

・保護者に聞き取りをし、アレルギーのある利用者には気を付けている。

- ・フォーマットの見直しを行っていく